

住友生命 新商品「1UP(ワンアップ)」新CM第六弾

「もうママとは呼ばない…」マイペースな若手会社員が意外とハマリ役
おなじみ瑛太さんに加え、新たに菅田将暉さんを起用!!

～ 吉田羊さん、お笑い芸人の斉藤慎二さん(ジャングルポケット)との初共演にも注目 ～

< CM第六弾『ここから1UP』篇を平成28年6月24日（金）より全国にて放映開始 >



『ここから1UP』篇(30秒)(15秒)

住友生命保険相互会社(社長:橋本 雅博、以下 住友生命)は、主力商品「1UP」の新たなCMキャラクターとして菅田将暉さん、斉藤慎二さん(ジャングルポケット)を起用いたします。

これまで瑛太さんが演じてきた「上野一(うえだはじめ)」に加え、新たに菅田将暉さん演じるマイペースな若手会社員「上野一(うえの はじめ)」が登場し、今後はWキャストで、一步前に踏み出す姿を描いていきます。今回デビューとなる上野一が、斉藤慎二さん演じる勤務先同僚Sさんの付き添いで保険の話聞きに行き、そこで話を聞いていくうちに、何かか1UPする瞬間を描いた、CM第六弾『ここから1UP』篇を平成28年6月24日(金)より、全国で放送いたします。



住友生命が平成27年9月25日(金)より発売を開始した新商品「1UP」は、病気やケガで働けなくなってしまった時に、ご自身やご家族の生活を強くサポートする「生活保険」という新発想の保険です。

今回放送が開始されるCM第六弾『ここから1UP』篇では、菅田将暉さん演じるマイペースな若手会社員上野一が、斉藤慎二さん演じる勤務先同僚Sさんの付き添いで保険の話聞きに喫茶店へやってきます。

吉田羊さん演じる住友生命ライフデザイナーYさんの話を聞いている途中、母親からかかってきた電話に、これまでの「ママ」ではなく「お袋」と呼びかける上野一の姿とおして、働けなくなるリスクに備える「1UP(ワンアップ)」という新発想の「生活保険」が、人生をちょっと強くしてくれることを表現しています。この3人のやりとりを見守る、岡野陽一さん演じる喫茶店店員Oさんのコメントにもご注目下さい。

CM関連情報は住友生命公式ホームページ、住友生命公式 Facebook ページ、住友生命 YouTube 公式チャンネルでも公開しています。

- ◆住友生命1UPスペシャルサイト : <http://1up.sumitomolife.co.jp>
- ◆住友生命公式ホームページ : <http://www.sumitomolife.co.jp/>
- ◆住友生命公式 Facebook ページ : <http://www.facebook.com/sumitomolife>
- ◆住友生命 YouTube 公式チャンネル : <http://www.youtube.com/user/SumitomolifeOfficial>

<本件に関する報道関係者のお問い合わせ先>

住友生命「1UP(ワンアップ)」PR 事務局(ピーポイントプロモーション内)
村松(080-5516-7370)、落合(080-5199-7370)
TEL:03-6277-6701 FAX:03-3584-1310 E-mail:R_MURAMATSU@ppoint.co.jp

■CMストーリー 『ここから1UP』篇(30秒)

6月某日、勤務先同僚Sさんの付き添いで保険の話を聞きに喫茶店に来た上野一。
住友生命ライフデザイナーYさんから熱心に話を聞く二人。

その時、上野一の携帯電話が鳴ると…。

母親からの電話に「あ、お袋、今仕事だから折り返す。」といかにも言い慣れたように電話を切る上野一。
勤務先同僚Sさんから「仕事？」と聞かれると、「いや、お袋」と答え、今まで「ママ」と呼んでいた母親をあえて「お袋」と呼べるようになり、ほんの少し成長した姿を魅せます。

付き添いで来たにも関わらず、「1UP」に加入した上野一。

後日、本人、勤務先同僚Sさん、住友生命ライフデザイナーYさん、喫茶店店員Oさんにインタビューすると…

【インタビューに答える上野一】

「会社の人から保険の話聞くからお前も来いよ、みたいな。
はい、付き添いです。」
「1UP、加入しました。僕自身が1UPですか？ ないと思います。」



【インタビューに答える住友生命ライフデザイナーYさん】

「働けなくなるリスクに備える保険って、直接お話の方が
絶対分かりやすいので。」
「そうなんです。なぜか付き添いだっただけの上野さんが、1UP、
先日加入されました。」



【インタビューに答える勤務先同僚Sさん】

「上野はあまり興味なさそうでしたけど。まあ、僕が連れてきましたけど。」
「上野がですか？ 1UPですか？ ぼくより先に？
ないです、ないです。(笑)」



【インタビューに答える喫茶店店員Oさん】

「途中くらいかな。まあ、そこらへん分かっちゃうのよね。
まあ、ピンときたよね。」
「また見ちゃったよ1UP、みたいな感じだよ、こっちは。」
「(上野の)となり？ あれは何も感じなかったね。」



本CMでは、菅田将暉さん演じるマイペースな若手会社員上野一が、1UPしたことをきっかけに一步成長する姿をとおして、「1UP」が、“働けない状態”になった時のリスクを幅広く保障し、安心して生活を送ることができる、新発想の「生活保険」であることを訴求しています。

■新CM概要

- ◆ タイトル : 住友生命 新商品「1UP(ワンアップ)」CM第六弾 『ここから1UP』篇(30秒・15秒)
『ここから1UP 本人の証言』篇
『ここから1UP 営業職員の証言』篇
『ここから1UP 同僚の証言』篇
『ここから1UP 喫茶店店員の証言』篇
- ◆ 出演者 : 菅田将暉、吉田羊、斉藤慎二(ジャングルポケット)、岡野陽一(元巨匠)
- ◆ 放映開始/エリア : 平成28年6月24日(金)より全国でオンエア
- ◆ 広告主 : 住友生命保険相互会社

■撮影エピソード

今回の新CMは、菅田将暉さん演じるマイペースな若手会社員の上野一が、住友生命ライフデザイナーYさんとの出会いをきっかけに、「ここから1UP」していくというお話。

撮影現場は、おなじみの喫茶店。

今回のCMでは、住友生命ライフデザイナー役の吉田さんが、シリーズ初出演の菅田さん、斉藤さんに1UPについて丁寧に説明をします。これまでの撮影を通して、「1UP」の商品特性やその魅力を熟知されている吉田さんの説明に、撮影にも関わらず「あ、もう・・・入っちゃうな。」と、完全に惹きつけられた様子の斉藤さん。

菅田さんも吉田さんの説明に熱心に耳を傾けながら、持ち前の若手俳優としての演技力で、生のリアクションを織り交ぜながら見事に上野一役を演じられていました。

撮影スタッフがびっくりしたのは、吉田羊さんが携帯端末を使いながら、10分近くにわたってフリーで完璧なコンサルティングをする様子でした。「ライフデザイナー役の自分が間違った説明をしてはいけない」と前夜一生懸命勉強したとのことで、その熱意にスタッフ全員が感激しました。

おなじみの瑛太さん演じる「上田一」の物語に加え、若手実力派俳優としての菅田さん演じる「上野一」の新しい物語。実力派俳優陣が演じるこれからの1UPテレビCMシリーズに、今後ともどうぞ期待ください！



■菅田将暉、吉田羊、斉藤慎二(ジャングルポケット) CM撮影後インタビュー

●(菅田さんへ)今回のCMの感想や見どころを教えてください。

【菅田さん】

撮影方法の独特感が面白いと思いました。映画のような。今日の撮影の内容は知っていましたが、セリフみたいなものがきっちり決められているわけではなく、吉田さんに保険の説明を受けて、それを本当にポカーンと聞いているというのが撮りたいということだったので。なんか、ドキュメンタリーだけど、フィクションというか、フェイクドキュメンタリーというか……。その感じはすごく画に出ていますし、リアルに多分視聴者の人と同じような感じだと思います。。裏でいろいろ起こってたのも面白かったですけど(笑)

●裏話は何かありますか？

【菅田さん】

ずっと岡野さん(元巨匠。残念ながらインタビュー中は別シーンの撮影中でした。)が僕の足を踏むんですよ。コーヒーを運んでくださるときに。

【斉藤さん】

途中から僕らも分かったんですけどね。

【菅田さん】

そうなんです。僕は最初の一回目はああ仕方ないな、というか別に怒るんでもなんでもなく、ああ踏んだな、くらいなんですけど。二回三回とずっと踏むから(笑)
その真意は分かりません(笑)

【斉藤さん】

解散してちょっと色々あったんじゃないの(笑)

【吉田さん】

八つ当たりじゃない？(笑)

【斉藤さん】

俳優さんに八つ当たりするってそうないよね(笑)

●(吉田さんへ)今回のCMの撮影の感想などあればお願いします。

【吉田さん】

私ずっとスタジオでの撮影ばかりだったので初めてスタジオの外に出られてこれだけでもう

大解放感です！すごい楽しかった。外の空気が吸えた！みたいな。
しかも一時間くらいメイクかけて、15分で終わるっていうのが常でしたので。

【菅田さん】

そんな早かったんですか。

【吉田さん】

そうなんですよ。こんなにたっぷり本当に舞台みたいに頭から終わりまで通してお芝居をさせていただけた、っていうのがとても楽しかったですね。

●(齊藤さんへ)今回のCMの撮影の感想などあればお願いします。

【齊藤さん】

僕も菅田さんと一緒にないも聞かされてないというか。
初めて保険のこういったものだよっていう説明を聞いたときの素のリアクションというか、
そういうものを多分撮りたかったのだらうと思います。
でもやっぱり本当に話聞いてたら、「あ、もう…入っちゃうな。」っていう感じ。
吉田さんがもう、すごく上手かったの。

【吉田さん】

私自身も入りたくなりましたもんね(笑)

【齊藤さん】

金額とかリアルに、自分もまた保険に対して結構知識がなかったもので、
こんなにすごいものなんだっていうのを今日初めて知りました。

●(齊藤さんへ)お金に対してのお話にすごく反応されてましたが？

【齊藤さん】

そうですね。そこ上手く反応してくれと途中で言われたんですけど、でもまあそう言われなくてもリアルに驚くような金額だったので。

●(齊藤さんへ)ぼそっとお給料少ないんでって仰ったとき、菅田さん大笑いしていましたが？

【齊藤さん】

吉本もね、ある程度そこらへんリンクして(笑)9対1はリアルなので。(笑)

【吉田さん】

ちょっと涙目でしたもんね。

【齊藤さん】

そうですね。たまに99対1のときもあるので、本当にびっくりするところあるので。

そこらへんはリアルに言葉に表わせたかなと思いますね(笑)

でも入ろうかなと本当に思いますね、今回の件で。どうなるか分からないですし、この先。

●今回は主人公上野一が住友生命ライフデザイナーである吉田さんと会うことによってワンアップしていくというお話ですが、皆さんも誰かとの出会いがきっかけで自分が一歩進めたとか、変わったな、というきっかけになった出会いやエピソードがあったら教えてください。

【菅田さん】

そうですね。役者業の話になるんですが、青山真治監督と、甲斐プロデューサーさんというお二人との出会いですね。

それがちょうどデビューして3、4年くらいだったんですけど、正直よく分からずこの世界にいて、高校生のとき急に、「君は仮面ライダーだ。」って言われて・・・(笑)

【吉田さん】

地球を守れ！って(笑)

【菅田さん】

そうなんですよ。16の時に。「いやいや冗談だろう。」なんて思いつつ。でも放映されてるし。

目の前のちびっこを見ると、本気でやんなきゃなあ、なんてことをもちろん思いながら最初は始めました。

芸名だったりとか、そもそも標準語を喋れなかったりだとかっていう。上京して一人でよく分からず、辛いとかではないですよ。意味がよく分からない。パニックというか。

そんな中、俳優という職はこういうことだ、みたいなものを教えてもらった現場だったんですけど。

いまだに頭が上がらない師匠的な人ですね。

●(吉田さんへ)こういう人との出会いで一歩進めたとか変わったというエピソードはありますか？

【吉田さん】

私の場合はあちこちで喋ってますけど、やっぱり中井貴一さんと三谷幸喜さんは大きいかなと思いますね。朝ドラでこの役誰も注視しないよっていう小さい役を中井さんがご覧になって「君は誰だ。」ってご連絡くださって。そこから結構業界の中でご縁が広がっていったなっていうのは感じてますね。

●(吉田さんへ)同じく今、真田丸でも三谷さんとお仕事されてますよね。三谷さんは出会いのきっかけはあったんですか。

【吉田さん】

三谷さんは中井さんに紹介していただいたんです。

中井さんが私を見つけたときに最近見つけた面白い女優さんがいるんだよって言って、

舞台をやられてたので、本番中だったのに呼んでくださって。それで、行ったら三谷さんも呼んでくださっていて、会わせてくださったんです。そこで「この子だよ。」って言って。それがきっかけで三谷さんが昔やっていた東京サンシャインボーイズっていう劇団の復活公演があったんですけど、それに外部ゲストで呼んでいただいて。それを見に来た業界の三谷さんファンが「こいつは誰だ。」ってなって(笑)

そこから、「じゃあ、吉田羊使ってみるか」ってなって少しずつ広がっていったっていう感じですね。やっぱり最初に見つけてくださったのが発言に影響力のある中井さんだったからこそ、これだけ広がったというのはあると思います
だからそういう意味では人に恵まれてお芝居させていただいてるな、っていう感じです。

【菅田さん】

すごい良いエピソードですねえ。

●(斉藤さんへ) 出会いがきっかけのキーパーソンはいますか？

【斉藤さん】

僕はこのお笑いに入る前の仕事が営業マンだったんですけど、その前は演劇の学校行ったり、文学座っていうところで劇団の研究生もやったり。

【吉田さん】

えー！文学座っぽくない！

【斉藤さん】

文学座っぽくない！？だから落とされたんだと思うんですけど(笑)

たまたまその営業先で仕事してた上司の方に会議室に呼ばれて、「あなた面白いから吉本行きなさいよ。」って急に言われて。なんだろうこの人と思いました。

お笑いには元々興味はなかったんですけど。

元々その人が芸能プロダクションの社長をやってて、そこから転職して僕の営業先の上司でたまたま。

「役者の仕事したいでしょ？」みたいな感じで。

お笑い芸人になって、そこで成功したら役者の仕事してる人いっぱいいるじゃない。

「一回劇団落とされてそういうふうやってるんだったら多分そこから行くのは無理だからそういうのもいいんじゃない、踏み台にすればいいんじゃないお笑いを。」みたいな感じで言われました。

【菅田さん】

すげー！

【斉藤さん】

で、たまたま吉本の NSC を調べたら二日前だったんですよね、締め切りが。

それで次の日に退職願と(願書)両方出して。

でも後から聞いたら僕がその営業の仕事に対してちょっとモチベーションが下がってるみたいな感じで勝手に捉え

られてて。カマをかけるつもりでなんか言ったらしいんですよ。

すそれで、すぐ(電話)かかってきて。「ちょっとどういうこと！？さっき部長から聞いたんだけど、「辞めるってなに！？」「いや、言われた通りにしましたから。」「いや、そういうつもりじゃなくて、ちょっと一回話そう」って言われて…。

でも、もう荷物も全部取ってきたので」って言って。そこからですかね、うちの相方の二人もそうなんですよ。太田も就職決まって、もう一人も美容師の仕事してて。(願書を)前日に出したり当日に出したりした三人が集まったみたい。

だから半信半疑の状態に入って、でもその人がいなくなったらまあお笑いに対して興味も無かったですし、こういった素晴らしい女優さんと俳優さんとお仕事出来るっていうのはその人のおかげですね。

●「1UP」は働く人のための保険、ということなのですが、皆さんがもし仮に今と別の職業に就くとしたらどんな仕事をやってみたいですか？

【菅田さん】

僕元々決めてたものがあつたんですけど、それが先生です。教師でした。

高二の時に上京しているんですけど、それまで数学しか出来なかったんです。

数学が好きで。数学だけが好き、取り柄というか。それで、なんとなく親友のやつと一緒に教師目指そうかって。今そいつはもう教員免許取って。だから多分先生やってたと思います。

【吉田さん】

数学教師？

【菅田さん】

数学ですね。

良く聞くのが数学科って大学に行ってみんなだいたい落とされていって出来ないやっとなるんですけど。

だからそこを経験しないと分からないですけど。でも僕は多分中学生がいいですかね。数学は教えるなら。

●(吉田さんへ)もし今の女優業じゃなく別の職業に就かれるとしたら？

【吉田さん】

私未だに思ってるんですけど、もう辞めたらすぐにやりたいと思ってるのが花屋です。

お花大好きなので。アレンジも好きだし、花一輪を見るのも好きだし。

だから家には必ずお花飾ってますし。許されるならすぐにでもなりたいです。

もう女優いいよって言われたら、じゃあお花屋さんやりまーすって言って(お店)開きたいですね。

【菅田さん】

それこそよくお花もらうじゃないですか。

【吉田さん】

そうなんですよ！有難いですね。こんなにお花いただける仕事ってないじゃないですか。
そういう意味では天職だったのかしら。

●(斉藤さんへ)もし別の職業に就かれるとしたら？

【斉藤さん】

僕も菅田さんと一緒に先生ですね。

【菅田さん】

あ！そうなんですネ。

【斉藤さん】

母親が教師だったので。だからその姿見てみたいなのはありますね。
結構学校にもなんか手伝いに行ったりとかあって。

【菅田さん】

声とか、すごく温かい感じしますよね。

【吉田さん】

なんか聞いちゃう。

【斉藤さん】

僕も菅田さんと一緒に三人兄弟で男三人だったんですけど。
やっぱりなんか結構大変だったと思うんですね、家事もやって学校の先生やって。
結構なんかもうやれて当たり前みたいな感じで家のこととかも全部任せてて。
でも文句言わずにやってて。
生徒の前では一生懸命頑張って教師やってる姿見てて、なんか当たりのことが本当に幸せ
なんだなあっていうのを母親から色々教わった部分があったので。

【菅田さん】

かっいいいなあ！

【斉藤さん】

ひどかったですよ。野球部だったんですけど、ユニフォーム洗っておいて！みたいな感じで。
乾いてなかったら文句言って喧嘩してとか。その間に母親が僕の昼ごはんとか弁当作ってて、みたいな。
一人暮らしとか始めてやっと気づく、みたいなことが多かったの。

●面白いお話、ありがとうございました。

菅田将暉さんプロフィール



菅田将暉(すだ まさき)

生年月日 : 1993年2月21日
出身地 : 大阪府
血液型 : A型

2009年、第21回ジュノン・スーパーボーイ・コンテストにてファイナリストへ選出されたことをきっかけに芸能界入り。同年、「仮面ライダーW」でデビューし、その後数々の作品に出演。2013年に映画「共喰い」にて日本アカデミー賞新人俳優賞を受賞、2014年には映画「そのみにて光輝く」が高く評価され話題となった。2016年、既に映画・ドラマ・CMなど幅広い作品に出演が決定しており、大きな活躍が期待される。

斉藤慎二さん(ジャングルポケット) プロフィール

斉藤慎二(さいとうしんじ)

生年月日 : 1982年10月26日
出身地 : 千葉県
血液型 : O型
趣味 : ものまね、歌

2009年～2014年にかけてキングオブコント準決勝進出。
2015年には初の決勝進出を果たす。



1UPスペシャルサイト

本サイトでは、CM情報をはじめ、広告ギャラリーや商品内容など、様々なコンテンツを掲載しております。

この度、新CM公開に合わせて、サイトをリニューアルいたしました。

今回の新CM「ここから1UP」篇の舞台をそのままに、吉田羊さんが住友生命ライフデザイナーとして、1UPについてわかりやすく説明してくれる動画を新しく公開しました。

また、1UPの商品特性である「働けなくなるリスク」についてより理解していただくよう作成した「リスクチェッカー」も、よりみなさまに楽しんでいただけるコンテンツにバージョンアップしております(株)ディグラム・ラボ監修)。

◆1UPスペシャルサイト:<http://1up.sumitomolife.co.jp>

